

# 松山市教育会情報



発行所 松山市教育会  
 松山市祝谷町1-5-33  
 ☎ 089-933-0354  
 ホームページアドレス  
<http://matsukyokukai.main.jp/>  
 発 行 小 野 誠 一  
 責任者  
 編 集 調 査 研 究 部

## ごあいさつ



会 長  
小 野 誠 一



「子規さん俳句かるた」より

松山市教育委員会 編  
 松山市立子規記念博物館 監修

5月8日、3年以上にわたった新型コロナの感染症法上の位置づけが「5類」に変更されました。これからは、個人の選択を尊重し、自主的な取り組みを大切にされた対応に変わります。ゴールデンウィークでは、久しぶりの旅行を楽しんだり、野球やコンサートを楽しんだりする多くの人々の笑顔が見られました。ただ、法的な位置づけが変わっても、新型コロナがなくなったわけではありません。そのことを忘れず、自分で考え適切に行動していきたいと考えます。

さて、会長として務めさせていただき、ウィズコロナの中2年目を迎えました。昨年度は、役員、会員の皆様のご協力のもと、「まつやま教育フォーラム」「教育を語る会」等の事業運営が円滑にできたこと心より感謝申し上げます。5月20日、全員が参集して4年ぶりに定期総会を開催することができ、活動方針や事業計画をご承認いただきスタートを切ることができました。今年度は、気持ちを新たに、本会の活動目的である会員相互の親和連携と教育に関する調査研究・研修の充実を通して松山市教育の進展に寄与してまいりたいと思います。

本年度の活動方針ですが、昨年度の内容を踏襲するとともに、次の3点に重点的に取り組みたいと思います。

1つ目は、「組織の活性化」です。現職会員から退職会員の移行方法変更により、この2年間退職会員の人数が増加しています。しかし、今年度から公務員の定年が2年ごとに1歳ずつ延長し令和13年度に65歳に引き上げられます。そのため、今年度は退職会員がおらず、以後2年に一回の移行となります。会員の維持のためにも、文化講座の充実や支部活動の実践が重要だと思います。そのため、ウィズコロナは意識し、適切な活動をしっかり行っていきたいと思います。また、退職会員の人数減による小規模支部の在り方についても考えていきたいと思います。

2つ目は、「厚生・研修活動の充実」です。学校現場において、コロナ禍により一気に進んだGIGAスクールへの対応として、ICTに関する教育講座を去年に引き続いて開催します。また、退職前の参加が多かった退職後準備セミナーに追加して、将来の人生設計を考慮した20歳～30歳対象のセミナーを新たに開設していきます。

3つ目は、「地域社会との連携強化」です。今年度から中学校において部活動の地域移行も始まります。その中、少しずつ増えてきている「人材バンク」のより一層の充実を図りたいと思います。退職後も地域や学校に協力したいと考えている方も多いと思うので、広報に務めるとともに情報や交流の輪を広げていきたいと思います。

結びに、教育会として新型コロナを乗り越え、新たな飛躍の1年にするため、会員の皆様の一層のご理解とご協力のもと共に有意義な活動ができることに努めます。

## 令和4年度 会務並びに事業報告

松山市教育会

## 1 会員構成

		令和4年度	令和3年度	増減	備考
普通会員	現職会員	1,984名	2,034名	△50名	会費納入者数
	退職会員	802名	816名	△14名	
特別会員		15名	20名	△5名	
賛助会員(P T A等)		24名	23名	1名	
合計		2,825名	2,893名	△68名	

## 2 役員(任期2年の1年目)

会長	小野 誠 一	副会長	清 川 宜 博
副会長	廣 藤 まゆみ	監 事	渡 邊 恵 理
副会長	茨 木 里 子	監 事	萩 山 雅 彦
副会長	尾 脇 康 資	※理事・専門部員は省略	

## 3 行事報告

月	日	行 事 名	概 要
4	19	会計監査	監査
4	19	役員会(会長・副会長・部長)	事業報告・決算・活動方針・予算案等の審議
4	28	第1回 理事会	総会資料の審議
5	21	定期総会	事業報告・決算・活動方針・予算・役員選出 ※ 書面表決
4	20	会費集金開始	納入期限 6月30日
5	27	第2回 理事・専門部員会	部編成・活動計画・支部長会資料審議
7	8	第1回 支部長・事務局長会	専門部の活動計画
7	22	教育講座	GIGAスクール構想に対応した授業づくり～現状とこれから～ (松山市教育研修センター 小田 浩範 先生)
8		高齢者慶祝記念品配布	～9月19日 支部長(事務局長)を通じて本人の元へ
9	7	教育功労者推薦委員会	推薦者審議 県1名、市9名を推薦
9	9	第3回 理事・専門部員会	教育功労者選考、まつやま教育フォーラム等運営審議
9	22	第2回 支部長会	夏季行事報告・教育功労者推薦の件
10	23	えひめ教育の日推進大会	久万高原町産業文化会館他
11	5	まつやま教育フォーラム2022	講演 「映画作りから生まれる地域振興」 講師 大森 研一 氏
12	16	役員会	本年度事業の反省と来年度事業の方向付け
1	7	教育を語る会(市教研と共催)	講演 「部活動の地域移行 ～ピンチをチャンスに変えていこう!～」 講師 愛媛大学教育学部 教授 日野 克博 氏
1	22	松山市青少年育成市民大会	松山市教育会に参加要請
1	27	第4回 理事・専門部員会	本年度の反省と来年度の計画
2	7	第3回 支部長会	本年度の反省と来年度の計画

## 4 主要行事及び専門部活動

(1) 「まつやま教育フォーラム2022」 11月5日(土曜日) 123名 参加

※「えひめ教育の日」関連行事

- ア 開会式 会長挨拶、来賓祝辞  
 イ 講演会 演題 「映画作りから生まれる地域振興」 講師 大森 研一 氏  
 ウ 懇親会 ※ 中止 教育功労者・報賞者・高齢慶祝者に祝折

(2) 調査研究部

- ア 教育講座 7月22日(金曜日) 49名 参加  
 内容 GIGAスクール構想に対応した授業づくり～現状とこれから～  
 講師 松山市教育研修センター 指導主事 小田 浩範 氏  
 イ 会報「松山市教育会情報」  
 106号(6月10日発行) 107・108号合併号(2月1日発行)  
 ウ 「文教月報」執筆協力  
 エ 人材バンク設立とチーム学校スペシャリスト養成講座受講補助 3名  
 令和4年度人材バンク登録者数 8名 計 25名

(3) 福利厚生部

ア 文化講座

- (ア) 川柳教室 月1回(第3水曜日) 12名 講師 栗田 忠士 先生  
 (イ) 俳句交換会 毎月 12名 講師 吉田 晃 先生 吉田 博子 先生  
 (ウ) ヨガ講座 月1回(第2土曜日午後) 21名 講師 脇坂 恭子 先生  
 (エ) 詩吟教室 月2回(月曜日午前) 15名 講師 伊賀上峰山 先生  
 (オ) ピラティス教室 月1回(第1土曜日午前) 22名 講師 木下 絵理 先生

イ 慶弔関係

(ア) 高齢慶祝者 ※支部で伝達

白寿(令和4年度中に満99歳を迎えられた方) 2名  
 蝶野利恵雄氏(余土支部) 川崎 艶子氏(さくら支部)  
 傘寿(令和4年度中に満80歳を迎えられた方) 17名

大野萬紀子氏(八坂支部) 松本佐智子氏(素鷲支部) 田中美恵子氏(堀江支部) 大内 博久氏(和気支部)  
 鎌田サチ子氏(高浜支部) 井上 昭博氏(桑原支部) 在家 洋子氏(余土支部) 佐々木 栄氏(久米支部)  
 山田 眞昭氏(浮穴支部) 宮内 正民氏(小野支部) 洲之内博子氏(石井支部) 三好 和子氏(さくら支部)  
 西濱 拓美氏(浅海支部) 田中 圭子氏(河野支部) 中野 道春氏(河野支部) 山中 格氏(粟井支部)  
 金本 房夫氏(中島支部)

(イ) 教育功労者(令和3年度分) ※定期総会が書面表決のため支部で伝達

県表彰 2名 渡部 英綱氏(八坂支部) 田中 綾子氏(石井支部)

市表彰 8名

松岡 紀雄氏(八坂支部) 関谷 芳郎氏(さくら支部) 高岡 秀人氏(小野小) 稲田 直行氏(東雲小)  
 中野 公雅氏(拓南中) 鳥山 寿美氏(旭中) 川淵 光納氏(久米中) 鐘河内 薫氏(双葉小)  
 ※ 学校名は退職当時のもの

(ウ) 報賞者(本会役員在任4年以上の退任者) ※定期総会が書面表決のため支部で伝達

退職会員 7名

加藤 和子氏(番町支部) 矢野 聖寿氏(雄郡支部) 鈴木 清氏(潮見支部) 田中 勝氏(高浜支部)  
 山高 吉仁氏(垣生支部) 田中 康子氏(正岡支部) 古見 康浩氏(味酒支部・新玉小)

現職会員 6名

熊 広明氏(素鷲小) 神野 浩彦氏(湯山小) 渡部 和寛氏(窪田小) 小笠原 陽二氏(姫山小)  
 大久保美香子氏(立岩小) 渡邊真由美氏(拝志小)

(エ) 現職表彰祝金該当者

教育者文部科学大臣表彰 2名 川崎 豊氏(東中) 田坂 文明氏(鴨川中)  
 文部科学大臣優秀教職員表彰 2名 藤枝 靖人氏(石井東小) 北川 雅士氏(雄新中)  
 愛媛県優良教員表彰 9名 田村真知子氏(潮見小) 八塚 伝氏(宮前小) 木村 加奈氏(桑原小)  
 大森 尚慶氏(道後小) 山村 裕二氏(久米小) 藤本 浩平氏(たちばな小)  
 一瀬 望氏(鴨川中) 中井 将基氏(三津浜中) 坪田 朋也氏(久米中)  
 愛媛県教育選賞表彰 3名 渡部ゆかり氏(勝山中) 永木 泰造氏(余土中) 高智 誠司氏(北条北中)  
 松山市教職員教育長表彰 2名 滝田 寿之氏(清水小) 西谷 至代氏(難波小)

(オ) 会員物故者 36名

ウ エスポワール愛媛文教会館飲食補助(現職会員対象) 98名

(4) 対策部

- ア 教育を語る会 …… 1月7日(土曜日) 105名 参加  
 ※ 市教研と共催で実施  
 講演 「部活動の地域移行 ～ピンチをチャンスに変えていこう!～」  
 講師 愛媛大学教育学部 教授 日野 克博 氏  
 イ 松山市青少年健全育成市民大会 1月22日(日曜日) 10名 参加  
 ウ 青少年の非行・被害防止県民大会 7月27日(水曜日) 1名 参加

## 令和4年度 決算書

松山市教育会

## 歳入

款項	目	予算額	決算額	比較増減(△)	付記
I	総収入	6,100,400	6,027,090	△ 73,310	
	1 繰越金	1,763,860	1,763,860	0	前年度からの繰越金
	2 会費	4,271,500	4,191,000	△ 80,500	OB1,500×802名+現1,500×1,984名+500×賛24名
	3 助成金	40,000	52,200	12,200	県教育会から
	4 雑収入	25,040	20,030	△ 5,010	利息・その他

## 歳出

款項	目	予算額	決算額	比較増減(△)	付記
II	総支出	6,100,400	4,592,829	1,507,571	
	1 事務局費	510,580	440,629	69,951	
	① 事務手当	400,000	400,000	0	職員手当
	② 事務用品費	50,000	16,247	33,753	用紙・封筒・文具等
	③ 通信運搬費	60,580	24,382	36,198	切手・はがき・送料等
	2 会議費	691,000	343,590	347,410	
	① 総会費	225,000	0	225,000	旅費・会場費・資料
	② 理事会費	150,000	101,650	48,350	旅費・会場費(4回)
	③ 支部長会費	224,000	188,700	35,300	旅費・会場費(3回)
	④ その他の会議費	92,000	53,240	38,760	旅費・会場費(監査・役員会・功労者推薦委員会等)
	3 支部活動費	1,508,000	1,478,800	29,200	各支部へ400円×(OB802名+現職1,995名)ブロックへ40,000円×9
	4 調査研究費	76,000	79,890	△ 3,890	チーム学校スペシャリスト養成講座受講補助
	5 福利厚生費	1,395,000	1,142,532	252,468	慶弔費・文化講座・部会等、会館飲食補助券
	6 対策費	92,000	70,700	21,300	研修会・部会等
	7 広報費	255,000	207,900	47,100	「市教育会情報」2回発行
	8 記念事業費	455,000	559,588	△ 104,588	「フォーラム2022」(えひめ教育の日関連事業)
	9 日連教大会費	161,000	7,000	154,000	旅費・参加費(東京大会)
	10 補助金・負担金	282,000	262,200	19,800	市教研大会研修補助金積立、各種団体負担金
	11 予備費	674,820	0	674,820	

本年度剰余金

1,434,261

(総収入決算額)-(総支出決算額)

## 本年度剰余金処分案

非常変災対応基金	0
次年度への繰越金	1,434,261

# 令和5年度 活動方針並びに事業計画

松山市教育会

## 1 活動方針

- (1) 組織の活性化
  - ① 支部活動等の円滑な推進を図る組織体制の充実・強化
  - ② 現職会員と退職会員との連帯提携の緊密化
  - ③ 本支部間の連絡の緊密化
  - ④ 新退職者の会員継続の推進と賛助会員の勧誘による組織の充実・強化
- (2) 会員の親和と厚生・研修活動の充実
  - ① 調査研修活動の充実
  - ② 広報活動の充実
  - ③ 現職会員の研修活動への支援強化
  - ④ 会員相互の親和連携の推進
- (3) 関係諸団体・地域社会との連携強化
  - ① 「えひめ教育の日」への参加協力と愛媛県教育会活動との連携
  - ② 青少年の健全育成活動と関係諸機関との連携
  - ③ 公民館等の社会教育活動と連携した学校支援活動の強化
  - ④ コミュニティ・スクール構想への参画と人材バンクの充実

## 2 事業計画

- (1) えひめ教育の日記念  
「まつやま教育フォーラム2023」  
11月4日(土曜日)
  - ① 開会式  
会長挨拶、来賓祝辞
  - ② 講演会  
教育講演会等
  - ③ 懇親会  
教育功労者・報賞者・高齢慶祝者の祝賀および会員の懇親を行う。
- (2) 調査研究活動
  - ① 教育講座の開設  
夏季休業中に1回
  - ② 第34回松山市教育研究大会に対する援助・協力(最終年次(R5)に研修費補助)
  - ③ 日連教大会への参加(研修補助)

- ④ 会報「松山市教育会情報」の充実  
(年3回発行)109号(6月1日発行)  
110号(10月1日発行)  
111号(2月1日発行)
- ⑤ 「文教月報」執筆協力
- ⑥ チーム学校スペシャリスト養成講座受講補助と人材バンクの充実
- (3) 福利厚生活動
  - ① 文化講座
    - ア 川柳教室(退職会員のみ)  
月1回(第3水曜日午後)  
講師 栗田 忠士 先生
    - イ 俳句交換会 毎月  
講師 吉田 晃 先生  
講師 吉田 博子 先生
    - ウ ヨガ教室  
月1回(第2土曜日午後)  
講師 脇坂 恭子 先生  
(ひふみヨガ)
    - エ 詩吟教室(原則 退職会員のみ)  
月2回(月曜日午前)  
講師 伊賀上 峰山 先生
    - オ ピラティス教室  
月1回(第1土曜日午前)  
講師 ブラック 絵理 先生
  - ② 慶弔関係
    - ア 高齢慶祝者  
白寿(本年度中に満99歳になられる方) 3名  
傘寿(本年度中に満80歳になられる方) 15名
    - イ 物故者への弔慰(支部長と連携)
  - ③ (新)退職後生活準備セミナー(仮称)
    - ア 20~40歳代対象
    - イ 50・60歳代対象
  - ④ エスポワール愛媛文教会館飲食補助  
(現職会員対象)
- (4) 対策活動
  - ① 「教育を語る会」(1月6日)の企画・運営(市教研と共催)
  - ② 「松山市青少年育成市民会議」との連携・協力
  - ③ 教育関係諸機関・地域社会との連絡提携とボランティア活動の推進

## 令和5年度 予算書

松山市教育会

## 歳入

款項	目	本年度予算	前年度予算	比較増減(△)	付記
I	総収入	5,691,301	6,100,400	△ 409,099	
1	繰越金	1,434,261	1,763,860	△ 329,599	前年度からの繰越金
2	会費	4,197,000	4,271,500	△ 74,500	OB1,500×790名+現1,500×2,000名+500×賛24名
3	助成金	40,000	40,000	0	県教育会から
4	雑収入	20,040	25,040	△ 5,000	利息・その他

## 歳出

款項	目	本年度予算	前年度予算	比較増減(△)	付記
II	総支出	5,691,301	6,100,400	△ 409,099	
1	事務局費	466,300	510,580	△ 44,280	
	① 事務手数料	400,000	400,000	0	事務職員事務手数料
	② 事務用品費	20,000	50,000	△ 30,000	用紙・封筒・文具等
	③ 通信運搬費	46,300	60,580	△ 14,280	切手・はがき・送料等
2	会議費	814,000	691,000	123,000	
	① 総会費	225,000	225,000	0	旅費・会場費・資料
	② 理事会費	160,000	150,000	10,000	旅費・会場費(4回)
	③ 支部長会費	320,000	224,000	96,000	旅費・会場費(3回)
	④ その他の会議費	109,000	92,000	17,000	旅費・会場費(監査・役員会・功労者推薦委員会等)
3	支部活動費	1,480,000	1,508,000	△ 28,000	各支部へ400円×(OB790名+現職2,000名) ブロックへ40,000円×9
4	調査研究費	147,000	76,000	71,000	チーム学校スペシャリスト養成講座受講補助 教育講座等
5	福利厚生費	1,292,500	1,395,000	△ 102,500	セカンドライフセミナー 慶弔費・文化講座・部会等、会館飲食補助
6	対策費	78,000	92,000	△ 14,000	研修会・部会等
7	広報費	240,000	255,000	△ 15,000	「市教育会情報」3回発行
8	記念事業費	593,000	455,000	138,000	「フォーラム2023」(えひめ教育の日関連事業)
9	日連教大会費	130,000	161,000	△ 31,000	旅費・参加費(山口大会)
10	補助金・負担金	252,000	282,000	△ 30,000	市教研大会研修補助金積立、各種団体負担金
11	予備費	198,501	674,820	△ 476,319	

## 別途積立金

非常変災対応基金	令和3年度	100,000
	令和2年度	400,000

## 令和5年度 松山市教育会役員名簿

役職名	氏名	学校名・支部名	出身役職名	備考
会長	小野 誠一	味生支部	OB・支部長	
副会長	廣藤 まゆみ	姫山支部	OB・支部長	
副会長	池田 浩二	北条北中	市教研会長	新規
副会長	越智 文明	清水小	小校長会長	新規
副会長	荻山 俊樹	拓南中	中校長会長	新規

## 退職会員

役職名	氏名	支部名	出身役職名	備考
1 区理事	菅田 顕	清水支部	OB・支部長	
2 区理事	白石 弘子	新玉支部	OB・支部長	
3 区理事	替地 和人	生石支部	OB・支部長	
4 区理事	金本 和樹	中島支部	OB・支部長	
5 区理事	田丸 耕造	みどり支部	OB・支部長	新規
6 区理事	堀内 靖志	湯山支部	OB・支部長	
7 区理事	藤川 典子	石井支部	OB・支部長	
8 区理事	深井 泰	福音支部	OB・支部長	
9 区理事	金子 秀樹	難波支部	OB・支部長	

## 現職会員

役職名	氏名	学校名	市教研役職名	備考
理事	西岡 香恵	東雲小	市教研副会長	
理事	金本 茂樹	南第二中	市教研副会長	
理事	石橋 恵美	生石小	市教研副会長	新規
理事	悦内 誠二	城西中	研究部長	
理事	神野 泰二	椿中	法制対策部長	新規
理事	山本 美喜	日浦小中	情報宣伝部長	
理事	門田 佳代	高浜中	編集部長	新規
理事	川崎 洋幸	河野小	福利厚生部長	
専門部員	矢島 和海	みどり小	壮年部代表男	新規
専門部員	野村 貴久美	難波小	壮年部代表女	新規
専門部員	竹本 尚平	高浜小	青年部代表	新規
専門部員	田村 眞実	椿小	事務職員部代表	新規
専門部員	矢野 豊	正岡小	へき地・小規模校部代表	新規
専門部員	尾野村 千幸	道後小	養護教員部長	新規
専門部員	武田 幸美	道後小	栄養教員部長	新規
専門部員	高橋 芳文	湯築小	小学校教頭会代表	新規
専門部員	日野 伸介	北条南中	中学校教頭会代表	

役職名	氏名	学校名・支部名	出身役職名	備考
監事	渡邊 恵理	湯山支部	O B	
監事	川口 理香	北条北中	市教研監事	新規
事務局	山地 裕司	愛媛文教会館内	市教研事務局	
	大田 宏美			

# 文化講座紹介

— 令和4年度会員の作品 —

## 俳句

ジェフベック流して呷るおでん酒	オスカル池田
春風や四肢を揺らして笑むややこ	小池 郁子
松風の響く茶屋や風光る	田中 勝
諳んじる漢詩一行星月夜	姫田 みゆき
万物の萎えて炎暑の献花台	姫野 だるま
一生餅背負ふ赤子や春隣	松任谷 由実男
鉄瓶の水まろやかに大火鉢	松本 豊香
シヨパン流れ秋蒔き花の種をかう	三谷 美貴
息災の便り水なす届く朝	森田 章夫

## 川柳

人間臭く生きて私は水になる	池谷 三和子
味見せず何でも醤油かける人	柏井 正子
ドーナツの穴と思えばいいのです	栗田 忠士
ノーマークの背を押したのは風だった	仙波 弘子
女だから女の痛み皮膚で聴く	高橋 輝子
ここからは軽いリュックにハーモニカ	富永 千恵美
出土品に問う女性は太陽か	松本 玲子
おあいこに丸くなれない土団子	山下 恵美子

## ブロック紹介

### 第一ブロック会員の絆を強く紡ぐ 「わいわい三水会」 活動

#### 第1ブロック 菅田 顕

「わいわい三水会」と命名して早くも7年に近い歳月が流れた。命名に当たっては、第一ブロックの充実発展のためにはと、番町、味酒、八坂、東雲、清水、姫山の各支部長さんが集まり知恵を出し合い、統一活動を原則として、毎月の第三水曜日に位置づけ、会員が気軽に集まり和気藹々と活動をしようよとの話がまとまり、それを「わいわい三水会」と銘打って活動が始まった。

本年度の活動計画作成に当たっては、前年度末に、第一ブロックの各支部長さん方、熱心な会員の方々の下、文教会館で積極的な意見交換をし、年間活動計画を作成している。

昨年度の最終活動と言っても今年の3月29日（水）だが、松山市の「二之丸史跡庭園」で大勢の会員の参加の下、お花見会を開きわいわい談笑しながら令和4年度の活動を閉じた。

今年度、令和5年の活動だが、年間活動計画に基づき、活動を開始した。先ず、4月の活動だが、4月19日（水）に「三津浜巡り」から始めた。始めるに当たって、三津浜の歴史、文化の内容理解がより充実した活動になることを願い、「三津浜まちづくり協議会」にコンタクトをとったところ、早速、事務局長の宮内淑氏から電話をいただき、宮内氏自ら三津浜を案内してあげるとの誠意溢れるご提案をいただき、胸熱くしてありがたくご依頼申し上げた。

当日は天気にも恵まれ、絶好の「三津浜めぐり」となった。宮内氏のご配慮で三津巖島神社のご了承をいただき、私達の自動車の駐車場所を確保していただいた。スタートは三津巖島神社の神主さんの丁寧なご説明と私達の質問にも誠意あるご回答をしてくださった。その後、宮内氏の見事な案内の下、「子規さんが愛したレトロな三津の町歩き」は、沢山の出会い発見の充実した活動となった。

ところで、今年度5月からの活動は先ず「今治の造船所見学」、6月「油絵体験」、7月「高知県の牧野植物園研修」、9月「糸瓜忌講演会」参加、10月「坊ちゃん劇場」観劇、11月「句碑めぐり」、12月「高齢者生き方講座」、1月「新年会」、3月「石手川花見会」と活動がある。



「わいわい三水会」お花見の会活動 「二之丸史跡庭園」にて